

職員の健康管理に貢献した外科医「サバティエ」



1866年サヴァチエ赴任時製鉄所受け入れ状況

外国人が日本に安全。安心して住めるには大きな使命感が不可欠

日本の梅毒は1510年代に到着した外国人の往来が激しくなる幕末は妓楼に梅毒は蔓延

1854年安政元年の大地震。
1955年安政二年のM8.9大地震による津波被害（三浦半島に）
1856安政三年大暴風雨－江戸は死者多数

1862年 生麦事件では三浦郡は非常食供出・出動態勢の緊張 無宿・悪党の横行、押し込み、など幕末の民生は恐怖が襲った。

1760年イギリスに始まった産業革命は交通機関の拡大。普及で「結核など」感染症の世界的拡大をとのなった。

1854年開国に伴い、感染症も持ち込まれ、「アメリカ風」インフルエンザの流行。

1856年人流の往来が激しくなると三崎・浦賀の寄港地にコレラが流行
1862年風疹とコレラの流行

外国人への治安悪化

日本の情勢

コレラなどの感染症

大地震等の災害発生

娼妓の梅毒

サバチエの日本人に残した医業績

日本人娼妓の検梅を実施

- 横須賀の娼妓約50名の梅毒検査

横浜製鉄所医師ら通じた情報交換

- 横浜製鉄所医師 ジョレス病院 居留地の医師ら

製鉄所日本人医師へのフランス医学の伝承

- 村上伯英 石井宗順、中川義香ほか

製鉄所従業員以外への医療の実施

- 医療費基準を決めて治療

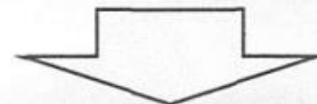
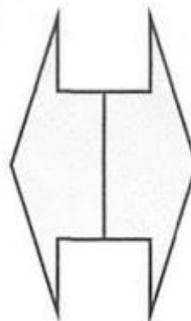
製鉄所従業員の治療行為

- 大工場での産業医、覺舎（こうしゃ）の学校医

薫陶を受けた日本人医師の地元等へのフランス技術の移転
大病院構想は横須賀共済会病院にて具現される。



天皇陛下との接見
国からの叙勲・地元からの感謝状



フランス帰国後 アメリカ大陸各地を訪問
疾病の報告を公表した